

学生を対象とした災害対応リーダー育成プログラム

『びわふえす ～「もしも」の時に備えよう！1泊2日避難所体験プログラム』
を開催します。ぜひ取材にお越しください。

大規模災害が相次ぐ中で、避難所の設営・運営や災害医療・心のケアなどを実地で体験し、将来、災害時に地域で活躍できる若者を育成することを目的に、高校生・大学生を対象とした災害対応リーダー育成プログラム『びわふえす ～「もしも」の時に備えよう！1泊2日避難所体験プログラム』を、本学医学部学生が中心となり開催いたします。

本企画では、若い世代、特に大学生や医療系学生が災害時に地域でどのような役割を担えるのか、事前に学び体験するとともに、自治体・関係機関の協力を得て、実際に避難所生活を体験しながら、運営や医療支援の現場に必要な知識・スキルを知ること、災害時に「自分ごと」として行動できる学生を育成します。

このような本学ならではの取組みについて広く県民の方々等に知っていただきたく、報道機関の皆様におかれましては、ぜひとも取材にお越しくださいますよう、お願いいたします。

開催概要

【開催日時】2025 年 8 月 21 日（木）13:00～8 月 22 日（金）12:00（1泊2日）

【場 所】滋賀医科大学 武道場等（滋賀県大津市月輪町）

【参加者】高校生・大学生（定員約 40 名）

【内 容】避難所運営ゲーム（リアル HUG）、災害関連講義、炊き出し体験・避難食調理、起震車体験

【主 催】びわふえす実行委員会

【共 催】滋賀医科大学国際保健・地域医療研究会 TukTuk 他

【後 援】国立大学法人滋賀医科大学

【協 力】滋賀医科大学救命医療研究サークル SALSA 他



参考：「避難所運営ゲーム HUG」の体験会の様子

※開催当日はボードゲーム形式ではなく、実際に学生が避難者役を務める HUG を行います。

★「びわふえす実行委員会」のご紹介★

「びわふえす」は、“病院を医療のハブから地域のハブへ”をモットーに活動する、滋賀医科大学の学生を中心とした学生団体です。病院をより身近で温かい場所にするを目指し、病院祭などのイベントを通して、医療と地域の橋渡しを行っています。

【本件に関するお問い合わせ】

びわふえす実行委員会 代表
滋賀医科大学 医学部医学科第 5 学年 大坪琉奈
E-mail : biwafes@gmail.com
Web サイト : <https://biwa-fes.studio.site>
Instagram : <https://www.instagram.com/biwafes>

【プレスリリースに関するお問い合わせ】

滋賀医科大学 総務企画課広報係
TEL : 077-548-2012（担当：塚本）
E-mail : hqkouhou@belle.shiga-med.ac.jp